

スタジオ活用でヒット作り

情報発信力を強化へ

大和無線電器

大和無線電器は昨年の新本社ビルに移した。グループ企業との連携や情報共有強化、IPホールディングススタジオ機能などを活用した情報発信力の強化を図り、事業を推進する。

電子部品部門は、第1四半期までは順調に推移。以降は取引先の在庫調整などで落ち着いた状況が続いた。一方で、装置向けやセツト商品向けの新たな案件が動いており、来期

ルタイムバトル将棋E DITION」に協賛。 本社7階のスタジオをスチール写真の撮影箇所提供したほか、映画中には同社の扱う炭酸水ソーダマシン「ソーダスパークル」が登場する予定だ。 ほか、昨年には防災関連の展示会にも出展。そのつながりから、能登半島地震に被災地に家電製品を納めるなど関連への取り組みを推進した。

今期は家電部門で、季節商品などが苦戦したが、理美容健康関連商品が順調に推移した。高額のドライヤーやヘアケア関連商品が売れた。単価がアップ

今期は、新たな取り組みにも挑戦。今年に公開予定の映画「eスポーリーツ!!」リア

「家電は健康や防災がテーマ。防災はアウトドアなども連携し、新しい切り口のテーマとして提案したい」と

坂本賀津也社長は



本社機能が入る新ビル

売れた。単価がアップ

今期は、新たな取り組みにも挑戦。今年に公開予定の映画「eスポーリーツ!!」リア

「家電は健康や防災がテーマ。防災はアウトドアなども連携し、新しい切り口のテーマとして提案したい」と

坂本賀津也社長は